

平成28年度 基礎医学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

大島 稔、大西基代、樫葉 均、東家一雄、戸田静男、深澤洋滋（五十音順）

B. 研究活動の概要

基礎医学ユニットは、解剖学、生理学、薬学および東洋医学基礎を専門領域として活動するメンバーにより構成されている。そのため、メンバーは各専門領域に関する研究テーマを中心に研究活動を行っている。以下に各メンバーの研究テーマを紹介する。

1. 大島 稔

視床—皮質投射系の研究

2. 大西基代

尿検査への抗酸化剤の影響について

3. 樫葉 均

脊髄後角における局所神経回路の形態学および電気生理学的解析

4. 東家一雄

リンパ系組織を対象とする機能形態学的研究

5. 戸田静男

(1) 東洋医学についての古医書からの研究
(2) 鍼灸で用いられるモグサの研究

6. 深澤洋滋

神経障害性疼痛の発症機序の解析

C. 研究業績

1. 著書・原著

i. 著書

松原勝美、和泉克典、大島 稔：柔道整復師国家試験過去問題＋要点テキスト 2017年度版、澤田 規（編）、第1版、久美出版、2016年

大島 稔：はり師きゅう師国家試験 過去問題＋要点テキスト 2016年度版、松原勝美ら（編）、第1版、久美出版、2016年

Masayuki Miyasaka, Erina Hata, Kazuo Tohya, Haruko Hayasaka. anatomy and Microanatomy of the Immune System. Lymphocyte Recirculation. Encyclopedia of Immunobiology. (M.J.H. Ratcliffe ed.) Volume 3, p.486-

492. April 2016, Academic Press (ISBN:9780123742797)

i. 原著

大久保淳子、形井秀一、戸田静男、松本毅、遠藤久美子、田代淳子、渡邊美保、会澤重勝：一定圧時の体積によるモグサ品質評価の試み。全日本鍼灸学会雑誌、66(3)、157-165、2016.

Jung Y, Riven I, Feigelson SW, Kartvelishvily E, Tohya K, Miyasaka M, Alon R, Haran G. Three-dimensional localization of T-cell receptors in relation to microvilli using a combination of superresolution microscopies. Proc Natl Acad Sci USA. 2016;113(40):E5916-E5924.

Kiguchi N, Sakaguchi H, Kadowaki Y, Saika F, Fukazawa Y, Matsuzaki S and Kishioka S. Peripheral administration of interleukin-13 reverses inflammatory macrophage and tactile allodynia in mice with partial sciatic nerve ligation. J Pharmacol Sci, 2017; 133(1): 53-56.

若山育郎、石崎直人、斉藤宗則、鶴 浩幸、深澤洋滋、増山祥子、形井秀一、川喜田健司：WFAS Tokyo/Tsukuba 2016参加報告、全日本鍼灸学会誌、67(1)、4-14、2017.

3. 学会発表・学術講演

i. 学会発表

樫葉均、清行康邦：オピオイドペプチドに应答する脊髄後角の深層ニューロンについて：パッチクランプ法による解析、第65回全日本鍼灸学会、札幌、2016.6.

Wakayama I, Ishizaki N, Saito M, Tsuru H, Fukazawa Y, Masuyama S and Yamashita H. Analysis of abstracts submitted to WFAS Tokyo/Tsukuba 2016. International Conference of World Federation of Acupuncture-Moxibustion Societies Tokyo/Tsukuba 2016, Tsukuba, 2016.11.

Fukazawa Y and Wakayama I. Up-regulation of cholecystokinin and cholecystokinin-2 receptor expression is associated with the attenuation of

intrathecal morphine antinociception following electroacupuncture. International Conference of World Federation of Acupuncture-Moxibustion Societies Tokyo/Tsukuba 2016, Tsukuba, 2016.11

i. 学術講演

檜葉均：「感覚：特に痛みを中心とした新知見」、京都府鍼灸師会生涯研修会講演、京都市、2016.7.

4. 研究費獲得状況

檜葉均（研究代表者）：脳幹からの下行性抑制ニューロンは脊髄後角の深層ニューロンを興奮させる、文科省科学研究費補助金（基盤研究C、平成26年～28年度、課題番号26462386）

深澤洋滋（研究分担者）：ニコチンシグナルを介したマクロファージ依存的炎症性疾患の新規治療戦略、文科省科学研究費補助金（基盤研究C、平成27年～29年度、課題番号15K10563）

基礎医学ユニット：変形性膝関節症に伴う疼痛の分子基盤の解明、関西医療大学共同研究費（平成28年～29年度）

5. その他

D. 社会活動・その他

東家 一雄：日本解剖学会評議員

深澤洋滋：全日本鍼灸学会国際部員